

# 相模原市人材育成基本方針 概要版

## 1 人材育成の必要性

「未来へつなぐ さがみはらプラン」  
(相模原市総合計画)の推進

直面する社会課題

- ①持続可能な行財政運営への対応
- ②誠実・公正な行政運営への対応
- ③急速な社会構造の変化への対応
- ④人口減少に伴う自治体職員数の減少への対応

「未来へつなぐ さがみはらプラン」を推進し、

直面する社会課題の解決に向けて対応できる職員の育成が必要

## 2 人材育成の基本的な考え方

職員一人ひとりが、行政のプロフェッショナルとして活躍するため、「目指す人材像」を掲げ、「人が育ち、人を育てる組織風土づくり」を進め、キャリアビジョンを描きながら職務を遂行できる職員を育成

目指す人材像

未来想定思考(バックキャスティング※1思考)で自律的に動く職員

※1バックキャスティング：将来のあるべき姿から逆算する形で、その実現のために取り組むべき事柄(プロセス)を検討する考え方

人が育ち、人を育てる組織風土

「共感」と「リスペクト※2」が浸透している職場

※2リスペクト：他者への尊敬や尊重

キャリアの定義

「市民のために、何を成し遂げるか。そのためにどのような能力を持ち、どのように行動するか。」

## 3 人材育成における重点的な取組

研修、人事・処遇など「5つの視点」により、重点的な施策として「5つの柱」を立てて、若手の育成、キャリア形成支援、環境の変化に強く自ら変化を起こす職員の育成などに取り組むとともに、「共感」と「リスペクト」が浸透する職場づくりを推進

